

令和 7 年

第11回教育委員会会議録

(開会 令和 7 年10月16日)

(閉会 令和 7 年10月16日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 7 年10月16日午後 2 時00分開会

会場：市役所 4 階第 3 会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

瀬川登美子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

説明のために出席した者

水野伸治君（事務局長）

木村正男君（学校教育課長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

下園芳明君（教育総務課長）

後藤道広君（学校給食センター所長）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第25号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について（原案可決）

②議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について（原案可決）

③議案第27号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 報告事項

・広陵中学校の施設管理の瑕疵による事故について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 皆さん、こんにちは。
これから令和 7 年第11回の教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしくお願いします。
会議に先立ちまして、瀬川委員が10月 1 日に市長から辞令を交付されております。
ここで一言御挨拶をお願いしたいと思います。
- 教育委員（瀬川登美子君） 10月から務めさせていただきます瀬川です。よろしくお願いいたします。

〔「よろしくお願いします」の声あり〕

- 教育委員（瀬川登美子君） 個人的なことを申しますと、上の子が大学 2 年、まだ現役で中 3 の子がおります。いろいろと親さんの御意見も伺ったりする機会も多いですので、何かこちらのほうでお話しすることができればと思っています。よろしくお願いします。
- 教育長（堀部好彦君） よろしくお願いします。ありがとうございます。

前回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） では、前回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（下園芳明君） 前回の会議録に変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願いします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育長報告でございます。2 点お願いします。
1 点目は、学校訪問についてです。
教育委員の皆さんにおかれましても、教育総務課の職員と一緒に日にちを調整して、皆さんで学校訪問されるといった学校訪問もありますし、また、それぞれの御担当の地域の学校に自ら出向いて校長先生とお話をされたり、学校の状況を確認られたりという訪問もあるかと思います。本当にいつもありがとうございます。
私ども教育委員会事務局の学校訪問について改めて申し上げますと、年に各校 2 回、計画的に訪問ということでお邪魔をさせていただいております。各担当が随時訪問するということはもちろんあるんですけども、教育長以下、学校教育課の者が訪問するのは各校年 2 回です。1 回は、岐阜県教育委員会の可茂教育事務所の職員の学校訪問に同行する形で訪問させていただいております。そこでは授業参観をさせていただき、校長方との事務所との懇談の様子を同席させていただいて、お聞きしたり、人事の話もしたりだとかという形です。それが 1 回目、1 つあります。
それから 2 つ、もう一つは、可児市教育委員会が独自で学校を訪問させていただくということです。これも学校経営について校長方と懇談をしたりだとか、人事について情報を共有したりだとか、学校の願い、校長の願いをお聞きするとかということが主な内容となっております。

今年は、秋に可児市教育委員会の訪問が計画されておりまして、今それが進んでおります。3分の1程度実施したところです。今回、この学校訪問で私が校長と懇談をするテーマをここで紹介をさせていただきたいと思います。

何をテーマに私と校長先生が懇談をしているかということなんですけれども、1つは、改めてその学校が目指している「笑顔の“もと”」についてお聞きしながら、その「笑顔の“もと”」を育てている子供たちの具体的な姿を話題にしていきたいと思っています。

なぜ、そういうことを話題にしているかというと、「笑顔の“もと”」というのは、いつも申し上げているとおり、それぞれの学校がこんな「笑顔の“もと”」を育めば、子供たちの未来、幸せに笑顔で生きていけるだろうという考えでやっておりますよね。その「笑顔の“もと”」をできるだけ具体的に、この子のこういう姿、この子のこういう力、この子のこういう心情が将来の笑顔に結びつくんだよということを学校の先生方みんなが共有していれば、それに向かって頑張れるじゃないですか。何となくやるということではなくて。教育委員会に言われているからやるとか、国がこういう学習指導要領をつくっているのだから、その学習指導要領に向かってやるとかという外からの働きかけでやるということではなくて、自分たちがこんな姿を目指して頑張っていきたいと思っていることが大切だと思うので、それをまず話題にしていきたいということで、今後の一番の重点としているわけです。

2つ目は、コミュニティ・スクールとか、PTAのお話をしています。

こんな子供の「笑顔の“もと”」を育てたいという先生方の思いと、コミュスクを支えてくださっている方々、PTAを支えてくださっている方々の思いが一緒になったら、こんな「笑顔の“もと”」を育てたいという思いが一緒になったら、私は、学校はますます変わっていくと思うし、子供はますます育つと思うし、可児市全体が未来の笑顔に向かって、「笑顔の“もと”」を育むことに向かった動きが出てくるんじゃないかなと思っているので、コミュニティ・スクールやPTAの活動について、「笑顔の“もと”」という観点から今どんな状況ですかということを話題にしています。

皆さん、教育委員の皆さん4名とも、かつてPTAの役員、中核として学校を支え、子供たちのためにということで一生懸命考えてくださった方々ばかりですので、ここで1つお願いですけれども、それぞれ学校訪問をしてくださるときに、私が今申し上げたような、学校がどんな「笑顔の“もと”」を育んでいきたいと考えているのか、そのためにPTAやコミュニティ・スクールでどんな活動をしようとしていらっしゃるのか、何かそんなことを話題にしていただけるとありがたいなと思います。

時々こうやって私、学校訪問で校長やいろいろな先生と、ふだんの訪問、学校に行かれて学校の先生とお話をされるときに、こんなことを話題にしてくださいということを幾つも申し上げています。とてもたくさん言っていると思っていますので、全てをやってくださいということではありません。いつもきちっとメモをしてくださっていただいておりますので、そのメモしたことの中で、こんなことをと、特に御自身も興味・関心のあるところで話題にしていきたいなというところがあれば、やっていただけると大変ありがたいです。大きく1つ目は学校訪問についてでした。

2つ目は、可児っ子の笑顔づくり事業の表彰式です。これは新聞でも取り上げていた

だいたいのものでは、この可児っ子の笑顔づくり事業というのは教育委員会が主催ということではなくて、市長じきじきに子供たちの笑顔をどんどん増やしていきたいということで、関係課、秘書政策課が事務局となってやっていることなんです。

どういうことかという、毎年夏の作品展、科学作品とか社会科作品ってありますよね。あの作品の中で、可児市のことを取り上げた作品、可児市の自然を取り上げた科学作品とか、可児市の自慢に結びつくようなことを取り上げた社会科作品とか、そういうものがいつも100作品前後出てくるんですよ。

その中で、可児市への興味・関心をさらに持ってもらいたいという願いから、特にいい作品に賞を出しているんですね。スマイル輝き大賞というのが1名、スマイル輝き賞というのが5名、スマイル賞が21名ということで、市長が3年前になるんですか、毎年市長が行ってくれているんですが、児童生徒科学・社会科作品展に出向いて、子供たちの作品を丁寧に見ておられた。そうすると、結構これ可児市のことを取り上げてくれている子、たくさんいるよなど。可児市のいいところ、可児市について調べるというのは可児市のことを誇りに思うことにつながるんだと。それは笑顔につながるんじゃないかと。まさに「笑顔の“もと”」のことを大切に考えてくださっているんですけども、そんな思いから、そういった子たちに賞をあげようよという取組が始まったということです。

2年前からで、今年2回目ということで、いつも表彰式は市長公室で行われて、特にスマイル輝き大賞の1人とスマイル輝き賞の5名、計6名の子たちが招かれて、市長と私がお迎えをして、それから関係の保護者の方々も来てくださってということで、作品の紹介を子供たちにしてもらったり、市長から話をしてもらったり、私も最後にコメントを求められたので、話をさせていただきました。そのような会も行われていますので、少し紹介をさせていただきます。

私、最後にコメントを求められたので、お伝えをしたことはやはり「笑顔の“もと”」のことです。市長と同じ思いで、まずは可児市について調べて、可児市って、こんないいところがあるんだな、可児市ってすごいなという気持ちを持つことは、ふるさとを愛する気持ちにつながって、これは未来の笑顔につながるんだよという話。それから、この作品はきっと自分からやろうと思って取り組んだということであれば、主体的に自分から進んでやるということはとても大切な「笑顔の“もと”」だよ、いつも人にやらされて動く、そんな生活では笑顔にはなれないんじゃないかなということで、いろいろな「笑顔の“もと”」があることをお話させていただきました。

これは、子供たちだけではなくて、保護者の皆様にも投げかけたメッセージで、「笑顔の“もと”」の理念をいろいろなところで広めていきたいという私のいつも思っていることなんですけれども、こういった場も活用させていただいてお話をさせていただきました。

学校訪問と可児っ子の笑顔づくり事業の表彰式ということで、2つお話をさせていただきました。よろしく願いをします。

教育委員報告

○ 教育長（堀部好彦君） では、教育委員報告に入ります。

- **教育委員（梶田知靖君）** 私、この10月1日から4年目になります。蘇南中学校校区を担当しております梶田と申します。よろしくお願いします。

教育委員として今月は特に活動がなかったのですが、先日、蘇南中学校の佐野校長に、失礼ですがお電話でちょっとお話を聞かせていただきました。先月にも少し御報告させていただいたと思うんですが、夏休みに入ってすぐ痛ましい水難事故が可児市であったんですけれども、文化スポーツ課のほうでライフジャケットを、教育長もおっしゃってみえましたが、お借りして、10月2日までプールの授業をやっていたということで、その授業の中で、実際にライフジャケットを着用して水に浮くというような体験をしたりとか、そういった授業を重点的にされたというお話を聞かせていただきました。

それから、あと生徒の増加とともに今年度から教職員も増えたということで、年度当初に駐車場の問題があったと思うのですが、中庭を改修して駐車場にしてくださって、10台ほど置けるようになったと非常に感謝していらっしゃいました。ありがとうございます。

あと先日10月11日、12日と学校運営協議会、まさにコミュニティ・スクールで、PTAの方を中心として学校で多文化共生防災キャンプを実施されたようで、そこで1,000人分のカレーを作って、参加されたのは500人か600人ぐらいということですが、運動場だったり、体育館にテントを張って、そこに宿泊するという体験をされたそうです。カレーも1,000人分作って、500人、600人ということでしたので、少し余ったらしいんですけれども、すぐに「すぐーる」で保護者の方に案内したら、鍋を持って学校のほうに来てくださったというお話をお聞きしまして、本当に地域の方々、それからPTA、保護者の方に本当に支えられているなというところをすごく感じました。以上になります。

- **教育長（堀部好彦君）** 梶田委員、本当にありがとうございます。

電話をされたのは、その取材ということで。

- **教育委員（梶田知靖君）** そうですね。学校どうですかということで。

- **教育長（堀部好彦君）** 学校どうですかということで、その2つを教えていただいたと。

- **教育委員（梶田知靖君）** はい。

- **教育長（堀部好彦君）** コミュニティ・スクールについては、今一番思っていることなんですけれども、先ほど申し上げたように、コミュニティ・スクールというのは学校のお手伝いをするんだよと、先生大変だからとか、子供たちがこういうことでかわいそうだからとかというお手伝いをするということが一番の目的ではないんだよということを校長方にも改めてお伝えをしているところです。

これは言い方を間違えると、語弊があって誤解されたいけないのなんですけれども、お手伝いをしていただけるだけで大変ありがたいですね。これは、可児市は例えば広陵中学校を支えていくエール広陵に象徴されるように、大変な先生方を何とか支えていきたいという思いを持っている方が本当にたくさんいらっしゃって、どの校区にも、学校に対して協力的な方々がいらっしゃるんですよ。そういう方々に、お手伝いをするだけでは駄目なんですみたいなことは、全くそんなつもりはなくて、大変ありがたいんです。そういったベース、基盤があって、先ほどから申し上げているように、「笑顔の

“もと”」を育む取組を、学校だけではなくて、地域や保護者も主体的に子育てに関わろうじゃないかと。保護者が主体的に子育てに関わるって変な言い方ですけども、こんな子供を育てたい、こんな子に育ってほしい、こんな力を身につけてほしいという思いで取り組むことを目指していきたい。

そういった観点からしたときに、今、梶田委員が教えてくださった防災キャンプですね。これ、地域や保護者が一体となって子供たちの防災意識を高めていこう。そして、同時に自分たちも、大人の防災意識も高めていこうというようなことがきっと趣旨だろうと思うんですね。そういう中でカレーも作ったんだろうと思いますけれども、まさに私が願っているコミュニティ・スクールの取組だなと思って、きっと校長も、そういったことを教育委員に話ができたというのはうれしかったと思います。こうやって地域が頑張っているんだということを教育委員に分かってもらったということなので。本当にそういった取材を積極的にやっていただきましてありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** 教育委員としての行事のほうはなかったんですけども、10月の初めに、また東明小学校にお伺いしてまいりました。

それで、夏休み以降どうですかというお話を校長にお伺いしたんですけども、夏休み以降、ほぼ順調に進んでいますということをおっしゃってくださいました。大変暑いんですけども、暑さ指数（WBGT）の関係でプールが3回ぐらい休みになったりとか、可児自動車学校で交通教室をさせていただく予定なのが中止になってしまったりということがありましたと。ただ、可児自動車学校の御厚意で、何とか調整して11月にやっていただけるということで、校長が喜んでいらっしゃいました。11月に開催するということをお教えいただきました。

9月末からは運動会の練習も始まったということで、子供たちが本当に元気に運動会の練習をしているので、今週末にあるんですが、御招待もいただいていますので、楽しみに待っているところです。

それから、10月1日からトイレ工事のほうが始まったということで、ちょうど2日目に私がお邪魔したときだったんですけども、大きい音が出るのをすごく校長も心配していらっしゃったんですが、大きい音が出るものについては、休み時間などにやっていただくようなことを工事の方と調整をしてくださって、授業の途中ではすごく大きな音というのはなくて、今のところ順調に、それほど影響なく授業を進めていますということをお教えくださいました。

空き教室もいっぱいあるので、移動して授業をやってもいいですよと先生方にはお伝えしているんですけども、今のところそういったこともなく、順調に進めているということでした。

それから、草刈りを行われたということなんですけれども、地域の方々が率先して機械を持ってきて、すごく一生懸命やっていただけて、今までそういった地域の方が来て、機械を持ってきてがらがらどんどんやってくださるというようなところは経験がないということで、校長もびっくりされていました。

○ **教育長（堀部好彦君）** ああ、そうですか。中嶋校長。○ **教育委員（小栗照代君）** はい。それで、地域の方々の大変協力がうれしかったというようなお話をしてくださいました。

あと、ほかの先生方ともちょっと雑談をしながらお話をしているときに、5年ぶりに東明小学校に帰ってきたという先生がおっしゃっていたんですけど、以前2年生だった子が今は6年生になって、見ないうちの5年間の成長が本当に著しくて、子供たちの成長をほほ笑ましく思いながら、すごいなと思って見ていますというお声を聞いたときに、先生方もそういった目線で子供たちのことを一人一人見てくださっているというのが本当にありがたいことだなと思ってまいりました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今の先生の話ですけど、偶然会って廊下で立ち話とか、そういう感じでしょうか。

○ **教育委員（小栗照代君）** そうです。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうですね。そういったコミュニケーションも取っていただけてありがたいなと思います。学校、情景が浮かぶというか、例えば校長室にお伺いして、こういう形で面談ということもとても大切ですけど、そうではなくて、廊下で擦れ違われるところで気軽にそんな話をしていただけるということは大変ありがたいです。

あと、中嶋校長は可児市に勤めるのは初めてじゃなかったか、教諭時代に勤めたことがあるけれど、美濃加茂市など、ほかのところでもいろいろ御活躍をされている方で、そういう方がこんなところは初めてですよと、協力的なところはね。そう言っていたらというのも、やっぱりさっき言った可児市のええところやなあと思います。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** よろしくをお願いします。

私も教育委員としての仕事はなかったんですけども、先日中部中学校にお伺いさせていただきました。そこで思ったのは、6月に学校訪問がありますけど、校長と1対1でこうやってお話しすると、校長先生の熱い子供への思いだとか、考えや困っていることなどをお聞きできるので、またお伺いさせていただきたいなと思いました。

その中ですごく印象に残っているのは、校内教育支援センターが中部中学校にありまして、そこに小学校と中学校でほぼほぼ全欠な子がいて、だけれども、その校内教育支援センターにいらっしゃる方が上手にその子と接していくうちに、その子には夢があったと。その夢を、じゃあ成し遂げるためにはやっぱり勉強も必要だよねといったことを子供に伝えたことで、勉強、まだまだこれからだけれども、勉強を一生懸命頑張って、学校、その校内教育支援センターの中ですけども、今来ているんですと言って言われていたので、すごいなと思ってお聞きしました。

校長もスマイリングルームの方に、いろいろしてくださったのもありますので、感謝していますとおっしゃっていました。

あとは、また違うことですけど、中部中学校ということではなくて、岐阜県の中でタトゥーだとか、薬物がやはり広がってきている。愛知県みたいに、名古屋みたいに都会じゃなくても、岐阜県でもそういうのが近づいてきているというのがあるので、情報モラルだけではなくて、薬物関係のそういったことも、これからは本当に力に入れていかないといけないなと。タトゥーに関しては、やっぱり気軽にやれてしまう、やってしまうというのがあるみたいで、個人的に思うのは、タトゥーは将来結婚したり、子供を持つことがあったときに、プールだとか温泉だとか行けなくなってしまうので、やっぱり子供たちにはそんな先まで見通せないかもしれないですけど、そういった話があったと

きは、ちょっと一歩立ち止まって考えてもらえるといいなというのは思いました。

あと、最後になりますけれども、校長は行政が長かったんですかね。現場に久々に帰ってきたということで、すごく給食が久しぶりで本当においしくてと感謝されていました。特にカレーを絶賛されていました。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうでしたね。

○ **教育委員（長井知子君）** そうですね。お伝えしておきました。本当に感謝していますとおっしゃっていました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 笠嶋校長と大変いい関係をつくっていただいていることがよく分かりました。ありがとうございます。

校内教育支援センターのことですけれども、不登校対策の仕組みなんですよ。校内教育支援センターというのは、今不登校が本当に増えてきていて、そういった中で学校には来られるけど、なかなか教室に入れないと。その子たちの居場所として位置づけていこうということで、昨年度2つ、蘇南中学校と中部中学校でそういった居場所をつくりました。1人ずつ、その場所を、そこを面倒見ていただく方も、支援員もつけました。新たに学校の希望も聞きながら、このたび4つ、さらに4校を増やしていくということでやっているものだけれど、先ほどの話からすると、本当に進路の高校の目標も持てるようになった子がいるという、学校の教室にも入れないんだけどとか、全然来られなかった子ですよ。

○ **教育委員（長井知子君）** ほぼほぼ全欠とのことでした。

○ **教育長（堀部好彦君）** 何年生から。

○ **教育委員（長井知子君）** そこまではお聞きしなかったですけど、ほぼ全欠なので、小学校の頃の勉強から今スタートしている。

○ **教育長（堀部好彦君）** 小学校の頃の勉強から、その教室で、校内教育支援センターでやっているということだね。きっと校長も大変喜んでおられると思うし、そういうことを教育委員にしゃべるというの、話をするというの本当にうれしいんだろうなと思います。そういった校内教育支援センターというのがあります。

ついでに申し上げますと、校内じゃなくて校外にある教育支援センター、これは普通に教育支援センターと言っているんですけど、スマイリングルームというのはお聞きになったことがあるかもしれませんが、今、可児川苑の一角でやっております。そんないろいろな不登校対策を可児市はやっていますということも、ここでまた話題にしていければなと思いました。ありがとうございます。

瀬川委員はこれからの活動になってくると思いますけれども、教育委員報告として、何かありますでしょうか。今3名の教育委員の方々のお話を聞いた感想とか、素朴な疑問でも結構です。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** 何というんでしょう、割と近い、学校側と近い関係でお話を伺うことができるのかなと思いました。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうなんです。そういったことをやってくださる、瀬川さんも間違いなくそういった資質を持っておられると思いますので、本当に。

前もお話ししたんですけど、私が教育委員の方々に求める一番の資質は、校長や学校のいろいろな先生方とよい関係をつくってくださる、このことですので、まさに私が皆

さんに求めていることを今言ってくださいましてありがとうございました。

これからいろいろ学校の情報を仕入れながら、何か仕入れなければいけないということではなくて、学校の先生と仲よくなっていくということが一番かなと僕は思うんですけど、またこれからよろしくお願いします。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** こちらこそよろしくお願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

議事

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。

○ **事務局長（水野伸治君）** それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおりでございます。

本日、議題が3件です。

議案第25号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について、議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について、議案第27号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上3件についてよろしくお願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本日の議事の議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について、議案第27号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、議案第25号 可児市学校運営協議会委員の委嘱についてを議題とします。

○ **学校教育課長（木村正男君）** では、よろしくお願いいたします。

お手元の議案書の1ページを御覧ください。

議案第25号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について。

可児市学校運営協議会委員を次のとおり委嘱する。令和7年10月16日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、委嘱委員、1. 土田小学校、氏名、村瀬雅也。委嘱理由のほうですが、土田地区センター長のためです。

2. 学校名、蘇南中学校、氏名、村瀬雅也。もう一度同じ方ですが、委嘱理由は同じく土田地区センター長のためです。

3. 学校名、今渡北小学校、氏名、井上麻貴さんです。委嘱理由は、今渡北小学校PTA会長のためです。

以上3校、2名の委嘱について承認いただきますようお願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

先ほども少し話題になりましたけれども、この学校運営協議会委員というのは、コミュニティ・スクールを推進していく母体となる集まりの方々のことを学校運営協議会委員といいます。逆に言うと、学校運営協議会というものをつくっている学校のことをコミュニティ・スクールと言っておりますので、御承知おきください。

では、御質問、御意見等、特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

報告事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、報告事項、広陵中学校の施設管理の瑕疵による事故についてです。

- **教育総務課長（下園芳明君）** それでは、別紙３のほうを御覧ください。

広陵中学校の施設管理の瑕疵による事故について。

地方自治法第180条第１項の規定に基づき議会の議決により指定された市長の専決事項として、令和７年10月１日付で下記のとおり専決処分を行ったため、報告します。

市は次のとおり損害賠償額を定め、和解する。

- １．相手方は、御覧のとおりです。
- ２．原因、令和７年８月６日午前９時55分頃、御覧の場所において、広陵中学校敷地内の枯れた竹が落下したことにより、相手方のカーポートが破損したものの。
- ３．損害賠償額は44万4,000円です。

瑕疵というのは、何らかの問題があることを意味しております。

また、地方自治法第180条の規定というのは、本来市が相手方と和解するためには議会で議決をもらうことが必要ですが、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、地方自治法第180条に議会が議決すべき事項のうち簡易な事項で、議会側があらかじめ議決により市長が専決していいと指定したもの、今回の和解の場合ですと、100万円以下の案件であれば、市長が議会の議決に代わり意思決定をし、議決を待つことなく和解をしてもいいというものです。この場合、次の議会で専決処分したことを報告する必要があります。

今回の事故につきまして、広陵中学校敷地といいますと校庭のイメージを持っていますが、事故が発生した場所は名鉄西可児駅の北、県道沿いの家の敷地になります。学校がある丘陵地ののり面に生えていた長さ５メートルほどの竹が枯れて、ほかの竹に寄りかかっていたところを、何らかの原因で相手方の敷地に落下したものと思われます。カーポートの屋根部分を市の負担で交換することで示談となり、市長において専決処分をして、議会への報告の前に教育委員会会議で報告するものになります。

なお、再発防止のため、業者に依頼をし、隣接箇所の竹等の伐採を進めているところですが、エリアが広いことから時間をかけて行うことになっております。

説明は以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 大変詳しく分かりやすく説明をしていただきました。大体内容としてはお分かりいただけましたかね。

教育委員会の業務は、教育委員会というと教育活動メインで、これだけというイメー

ジがおりかもしれませんが、そうではなくて、学校の施設の管理というものも大変大きな仕事のうちの一つです。

今回このようなことがあって、税金でこれだけの賠償をさせていただいたということになるんですね。こういった枝が落ちるとか、木が倒れるとかということも含めて、今こういうことがほかの自治体でも話題になっています。市内16校あるものですから、そして広いです、学校の敷地というのは。こういうことの未然防止という点も大変重要な仕事のうちの一つで、教育総務課はそれもきちっとやっていると聞いています。

それでは、この件についての質問等はなしということによろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

じゃあ、この件については報告のとおりよろしくお願いします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。
- **事務局長（水野伸治君）** 私のほうは、本日特にございません。
- **教育総務課長（下園芳明君）** お手元に幾つか書類を準備させていただいております。

まず、10月1日現在の教育委員会名簿、冒頭で教育長から瀬川委員を紹介していただいておりますが、併せて教育長の職務代理者、梶田委員が指名されております。御承知おきください。

また、担当役員につきましては、伊藤元委員の担当分を瀬川委員が引き継がれております。なお、名簿の取扱いには注意していただくよう、よろしくお願いします。

ほかに、委員の皆様には各種会議の案内を配付しておりますので、御確認ください。特に岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会に出席される方は、11月7日の朝8時半に市役所を出発します。朝早く、また一日になりますけれども、よろしくお願いします。

後ほど審議していただきますが、可児市教育委員会表彰式の案内も配付しております。12月7日、朝9時20分までに御参集いただきますようお願いいたします。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校教育課長（木村正男君）** では、前回の会議以降の学校の動きをお伝えします。

まずは、先ほど話題も上がっていましたが、小学校の運動会です。可児市内は、春先に土田小学校と兼山小学校2校が実施しておりますが、この秋口には9校実施予定です。今週末18日が帷子小学校、春里小学校、東明小学校、そして最近平日にやっている学校がありまして、23日木曜日が今渡北小学校、そして翌24日金曜日が広見小学校が実施します。そして、その翌日25日土曜日は多いですが、旭小学校、南帷子小学校、桜ヶ丘小学校、今渡南小学校が予定しております。非常に天気も気になっているところですが、それぞれに練習したことが発揮される運動会になるように見守っていきたいと思っております。

続きまして、これも小学校ですが、就学時健診が今始まっております。来年入学する児童やその保護者に来校していただいて、次年度に向けた諸検査を進めているところです。スタートは、10月1日に広見小学校から始まりまして、ちょうど今日が最後になり

ますが、本日今渡南小学校と桜ヶ丘小学校が2校、最後としてやって、ちょうど今この時間やっております。次年度の入学のための該当する子供たちの様子を見届けていきたいと思っております。

それから話題が変わりますが、市内小・中学校において、ちょうど小・中学校、前期・後期の2期制になっております。10月10日金曜日が前期終了の終業式でございました。そして、10月14日火曜日から後期の生活が始まっております。10月は非常に行事が多い時期ですので、あちこち出かけることも多くなっておりますが、どの学校も綿密に事前の打合せをして動いておりますので、特に大きな事故があったということは聞いておりませんが、今後も見届けていきたいと思っております。

最後に、先ほど話題がありましたが、校内教育支援センターのことが出ておりました。ちょうど9月の議会の補正予算で議決していただきましたので、10月1日より4校、西可児中学校、今渡北小学校、今渡南小学校、そして広見小学校において新しい支援員を配置しております。

特に初日である10月1日は、4名の支援員を、まず学校の代表者も同時に集まってもらい、そこで自己紹介をして顔合わせをしました。そして、既に開設している蘇南中学校のほうに視察に行きました。さらには、先ほど説明がありました校外教育支援センター、スマイリングルームが設置してあるところですが、そこも視察をした上で、その後、スクールカウンセラーのスーパーバイザーから、業務説明を聞きながらの研修をしました。今後も定期的に研修会を開きながら、支援員のサポートをしていきたいと思っております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** では、教育研究所からの資料がございますので、御覧ください。

1ページの1番の「笑顔の学校」公表会についてです。

前回、教育委員の皆様には御案内させていただきましたが、11月17日月曜日14時からとなります。会場は、1ページの真ん中辺りの②にお示ししましたが、総合会館2階の会議室で南帷子小学校、4階の第1会議室で桜ヶ丘小学校を御視聴いただきます。動画での視聴を見ていただくということです。会場のほうは、お名前を割り振らせていただきましたので、また御確認いただければと思います。

なお、当日14時からの開始、そして15時から2階会議室に全員お集まりいただきます。そこで、今年度立ち上げました授業改善サポートチームについて、研究所スタッフから講話の時間を10分程度いただきます。その後、公表校についての感想交流をその場で行う予定です。御承知おきください。

続きまして、裏面の2ページ、後半にあります2番です。

先ほど紹介もありましたが、本日で、次年度入ってくる1年生が対象になる就学時健診が終了します。この就学時健診のように、保護者の皆様が集まる機会や教職員向けの研修で、昨年度本市で作成しました東明小学校・久々利保育園の幼保小連携についての動画を見ていただくように各学校にも紹介しています。入学後、新1年生の子たちがスムーズに学校生活を送ることができるように、引き続き連携を図ってまいります。

私からは以上となります。

- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございました。
- 学校給食センター所長（後藤道広君） 学校給食センターからは、今回特にございません。
- 教育長（堀部好彦君） 今、各課から話がありましたが、御質問、御意見はありますでしょうか。
- 教育委員（小栗照代君） どなたにお伺いしたらいいか分からないんですけども、就学時健診のときに小規模特認校の募集などをするみたいなお話もあったんですが、現状はそういったことをお伝えいただいたりとか、また別に、逆に保護者の方々にお伝えするような機会というのは設けていただいているのでしょうか。
- 教育総務課総務係長（木村雄大君） 就学時健診のときにもそうですけれども、まずは市のホームページのほうに情報が上げてございます。
既に健診時には兼山小学校のほうで、本来は別の小学校なんですけど、兼山小学校のほうで就学時健診を受けている子もいると聞いております。そのほかの関係で、それより前といいますと、ちょっと動いていない状況ではあります。
- 教育長（堀部好彦君） よろしかったですか。
- 教育委員（小栗照代君） 前の校長先生のときに、就学時健診など、そういった何か機会があるごとに、保護者の方の前でぜひ来てくださいというようなことをお伝えする機会をつくってくだされば行きますというようなお話をしてくださっていたので、そういう意味で、ちょっと私のほうも今どういう現状かなというのを知りたかったのですが。
- 教育総務課総務係長（木村雄大君） 今年は、小学校と作成しましたポスターのほうを市内の幼稚園、保育園、こども園に送らせていただきまして掲示をお願いしたところです。そういった周知を今年取らせていただいております。
- 教育委員（小栗照代君） ありがとうございます。
- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

- 教育長（堀部好彦君） それでは、その他に御質問もないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。
特に何かありますでしょうか。
よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

- 教育長（堀部好彦君） それでは、次にその他に行きます。
次回の日程等です。
- 教育総務課長（下園芳明君） 次回会議の日程についてですが、11月21日金曜日の午後2時からということですのでよろしくお願いします。場所は、こちら市役所4階第3会議室です。

その次の12月の日程につきましては現在調整中です。よろしくお願いします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、よろしくお願いします。

通常、ここまでで時間がかかった場合、休憩ということなんですけれども、今日このまま続けさせていただいてよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

では、これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午後 3 時23分